

本田あきこ オレンジ日記



## スポーツファーマシストの活用

厚生労働委員会・議院運営委員会・ODA特別委員会 委員  
自民党女性局次長・厚生関係団体委員会副委員長  
参議院議員・薬剤師 本田 顕子

東京オリンピック・パラリンピックの開催が、いよいよ来年に迫ってきました。オリンピックを日本が招致できた理由の一つに、日本がドーピングにクリーンな国であることが挙げられたと聞いています。これまでオリンピックが閉幕すると、ドーピング違反でメダルをはく奪されたとのニュースを目にすることがありますが、我が国選手のオリンピックでの違反事例はほとんど聞いたことがありません。

我が国のアンチ・ドーピング対策は、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）が担当しています。JADAでは、薬剤師にドーピング防止活動に参加してもらおうと、「公認スポーツファーマシスト認定制度」を創設し、認定者は約1万人になったと聞いています。私は、小・中学校時代にバドミントン部に属していたことからスポーツに関心があり、スポーツファーマシストの認定を受けています。

ところで、自民党には、様々な部会、調査会等があり、私も時間の許す限り多くの会議に参加し、勉強をしております。10月末に開催されたスポーツ立国調査会・スポーツビジネス小委員会合同会議では、安全・安心なスポーツに向けた現状と課題に関してスポーツ関係団体からのヒアリングが行われました。その会議で、スポーツファーマシストについて説明させていただき、その活用について他の議員から後押しの発言をいただきました。

また、日本薬剤師会は、本年2月に「アンチ・ドーピング活動保険」を導入されたと聞いております。ドーピング禁止薬に関する問い合わせに、安心して対応していただき、薬剤師の新たな機能を発揮していただきたいと思います。



本田あきこ



メルマガ登録



本田あきこの部屋



@89314honda